

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 26 年 4 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

女^め岳では噴気地熱域が引き続き確認されています。
火山性地震は少ない状況で経過しました。地殻変動にも変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意して下さい。
平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1、図 3、図 4-①）

東北地方整備局が仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置している監視カメラによる観測では、女岳の噴気の高さは噴出域から 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

9 日に岩手県の協力により実施した上空からの観測では、前回（2013 年 12 月 9 日）陸上自衛隊東北方面総監部の協力により実施した観測と比較して、女岳の噴気地熱域¹⁾の状況に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・ 地震や微動の発生状況（図 4-②、③）

火山性地震は少ない状況で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 5、図 7）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 秋田駒ヶ岳 女岳からの噴気の状況
（4 月 19 日 17 時 00 分頃）

- ・ 仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置されている監視カメラ（東北地方整備局）による映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだのが、女岳からの白色噴気で高さは 50m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 5 月分）は平成 26 年 6 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

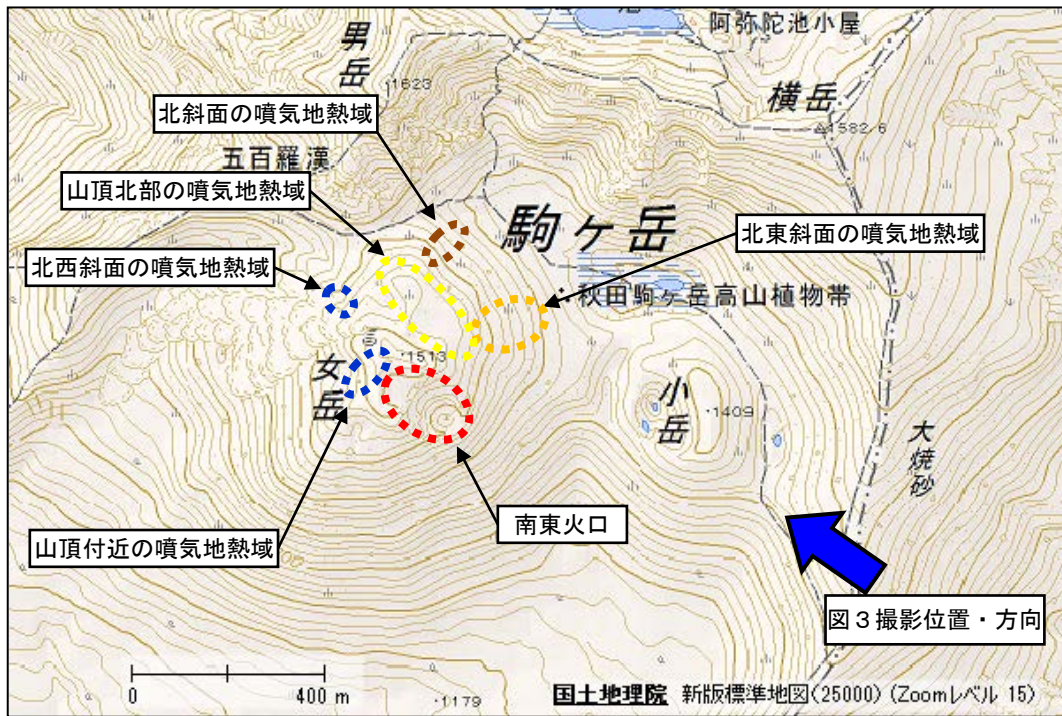


図2 秋田駒ヶ岳 女岳の地熱域の分布図及び上空からの撮影位置・方向

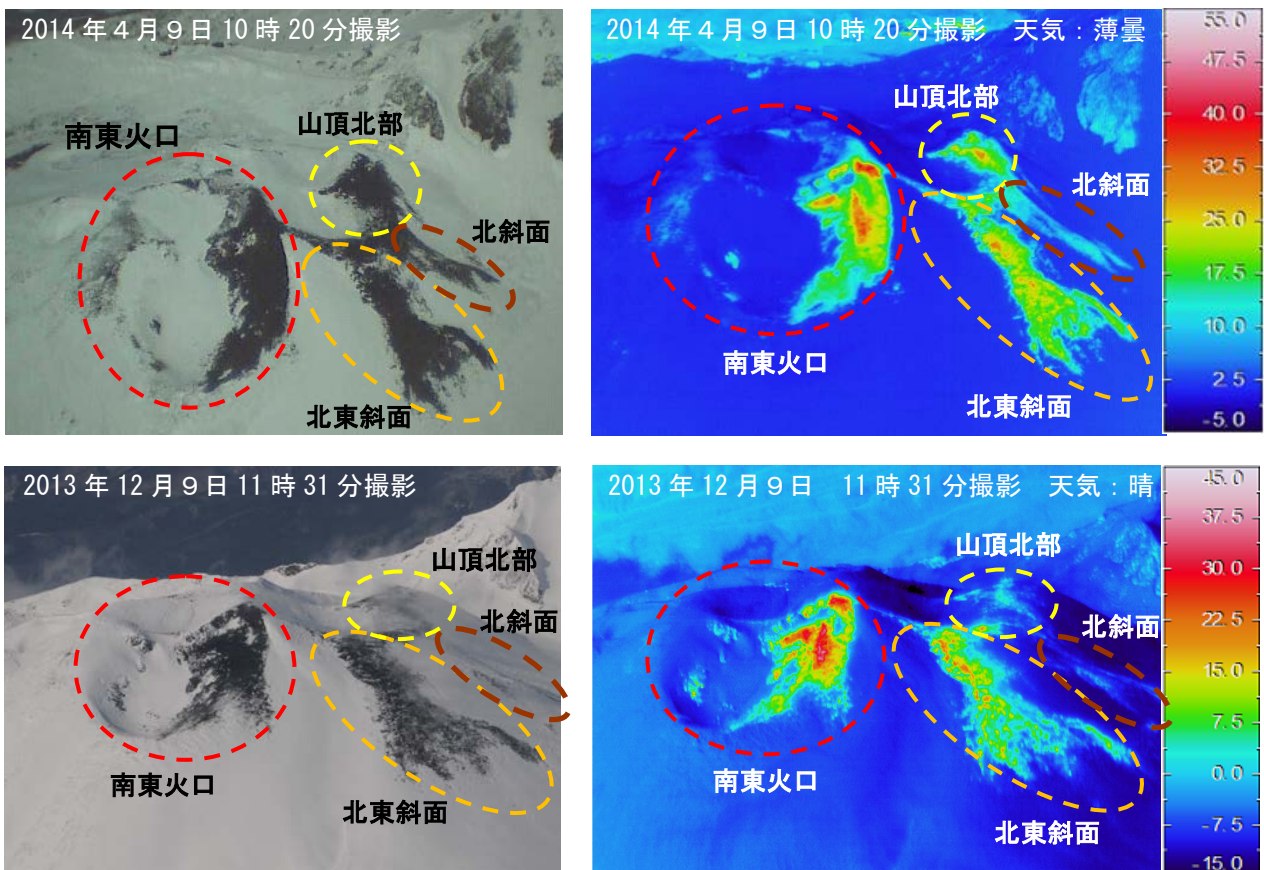


図3 秋田駒ヶ岳 東南東方向から撮影した女岳の状況（左）と地表面温度分布¹⁾（右）

- ・ 上段：岩手県の協力により撮影しました。
- ・ 下段：陸上自衛隊東北方面総監部の協力により撮影しました。
- ・ 2013年12月9日と比較して地熱域に特段の変化は見られません。
（融雪域が広がって見えますが、前回に比べて直前の降雪量が少ないことが原因と推測されます。）

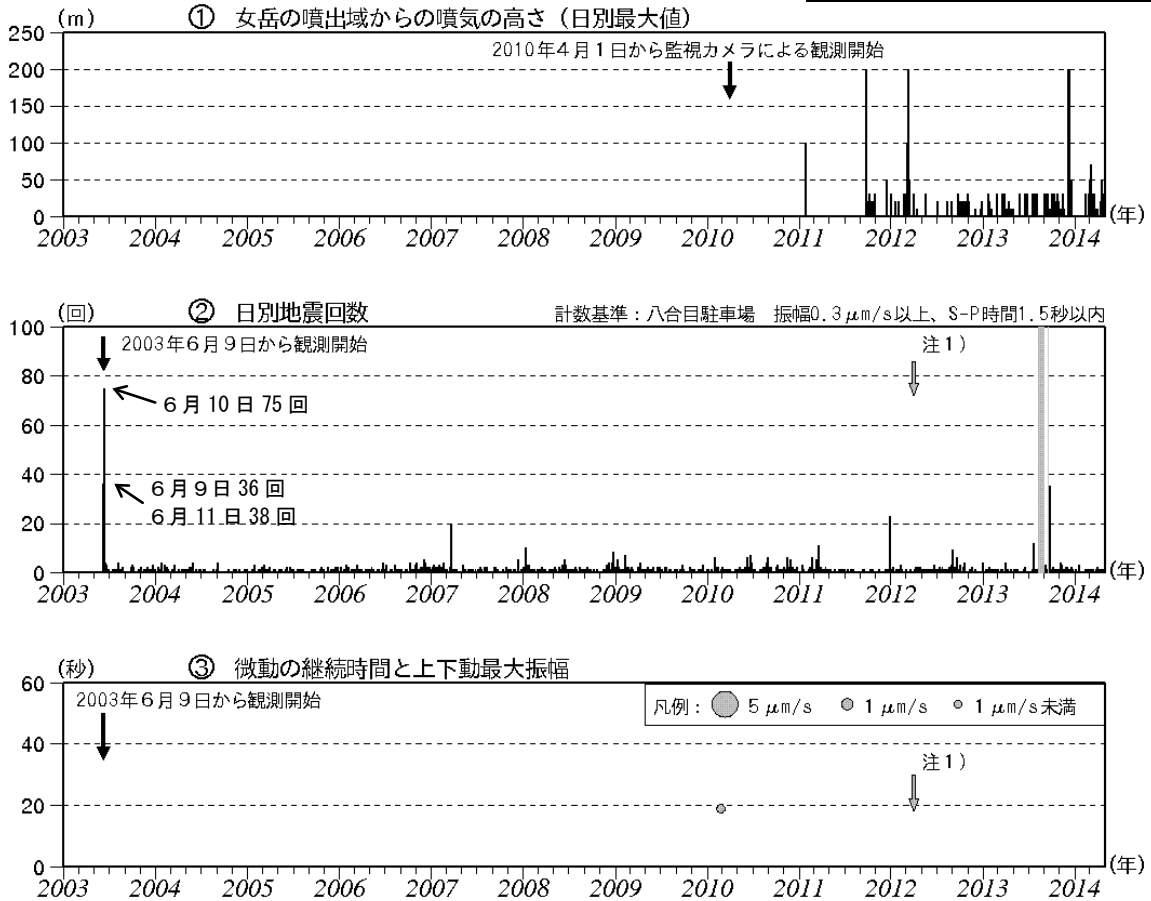


図 4 秋田駒ヶ岳 火山活動経過図（2003 年 6 月～2014 年 4 月）

- ・①熊ノ台（女岳山頂の南西約 5 km）及び仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置されている監視カメラ（東北地方整備局）による観測です。
- ・②③基準観測点の変更は次のとおりです（角カッコ内は地震回数の計数基準）。
観測開始 2003 年 6 月 9 日～東北大学秋田駒ヶ岳観測点 [振幅 0.5 μm/s 以上、S-P 時間 1.5 秒以内]
注 1) 2012 年 4 月 1 日～八合目駐車場 [振幅 0.3 μm/s 以上、S-P 時間 1.5 秒以内]
- ・②の灰色部分は欠測を表しています。

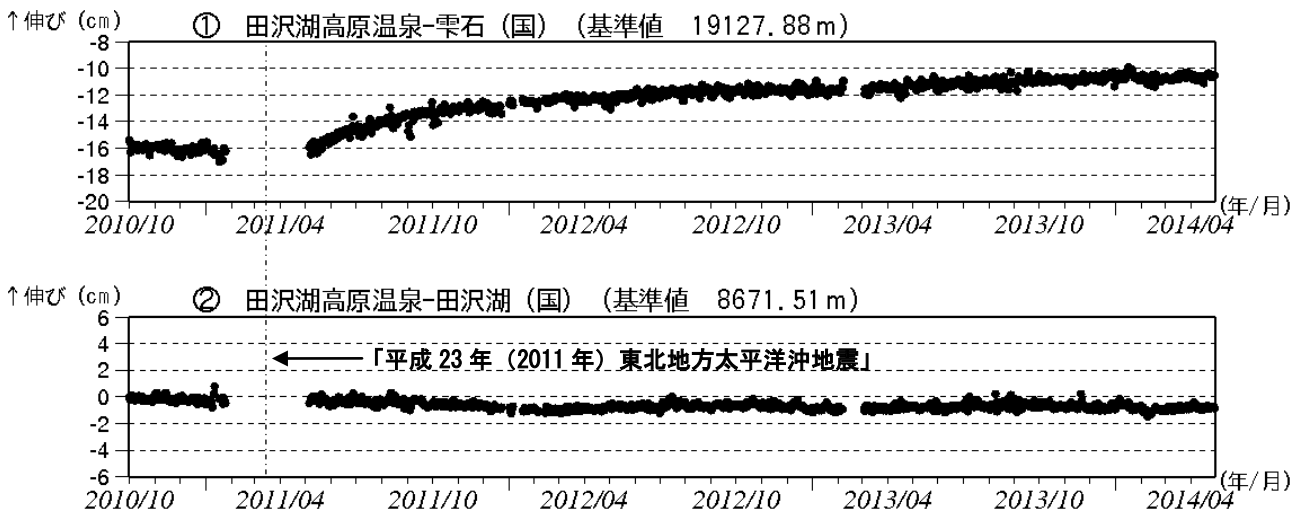


図 5 秋田駒ヶ岳 GNSS¹⁾ 基線長変化図（2010 年 10 月～2014 年 4 月）

- 1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- ・①の基線では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。また、その後の変動は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・①～②は図 7 の GNSS 基線①～②に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・各基線の基準値は補正等により変更する場合がありますが、最新の値のみ表示しています。
- (国)：国土地理院

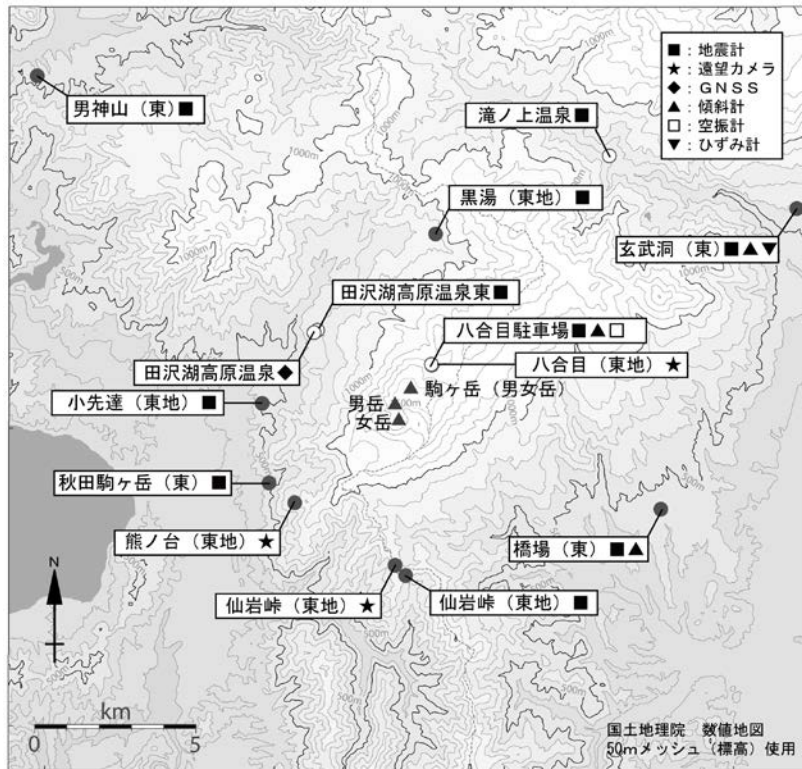


図6 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （東地）：東北地方整備局

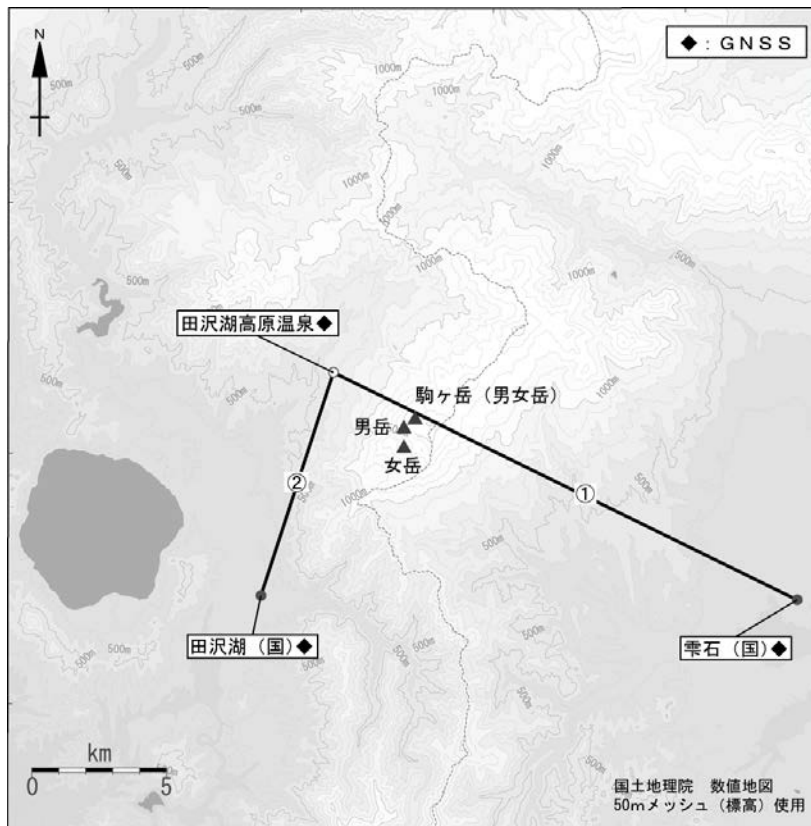


図7 秋田駒ヶ岳 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院